

○水生生物モニタリング調査結果一覧（真野川D）

＜真野川D 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
D-4 a	○	○	○	○	○	○

＜真野川D 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)
D-4 a	37.7308°	140.9081°	R3.10.21	08:10	08:22	13.7	13.4	砂・礫	10YR4/2	なし	0.45	>50

＜真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
D-4 a	37.7308°	140.9081°	R3.10.21	08:10	7.2	<0.5	2.4	10.6	10.1	0.05	1.1	1	1.2	N.D. (0.0015)	0.0087	0.00098

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
D-4 a	37.7308°	140.9081°	R3.10.21	08:22	7.6	411	19.5	2.1	2.6	2.698	28.8	36.0	23.9	4.0	4.7	2.6	1.2	9.5	6.5	140	0.72

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜真野川D 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
D-3	真野川本流	37.7051°	140.9623°	R3.10.20	節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	2	0.018	成体	—	—	7.8	N.D. (2.5)	7.8	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	カシカ	<i>Cottus reinii</i>	ウツセミカジカ	1	0.025	未成魚	—	—	5.3	N.D. (2.9)	5.3	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	0.033	未成魚	—	—	2.5	N.D. (1.4)	2.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	3	0.073	未成魚/成魚	—	—	18	N.D. (2.1)	18	—
					脊椎動物	両生	無尾	アメリカカガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	2	0.020	幼生 (オオモリヤガエル)	—	—	50	N.D. (2.3)	50	—
D-4 b	真野川本流	37.7312°	140.9096°	R3.10.20	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0037	—	—	—	200	N.D. (11)	200	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Parachauliodes sp.</i>	クロスジヘビトンボ属	41	0.019	幼虫	—	—	4.5	N.D. (2.0)	4.5	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ									
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	7	0.017	成体	—	—	10	N.D. (2.2)	10	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	17	0.38	未成魚/成魚	—	—	9.9	N.D. (1.3)	9.9	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サブリッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	6	0.33	未成魚	魚類	内臓除去	8.3	N.D. (1.2)	8.3	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	7	0.023	未成魚/成魚	—	—	10	N.D. (2.8)	10	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ									
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius kurodai</i>	トウヨシノボリ														
D-5	真野川本流	37.7214°	140.8889°	R3.10.20	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	105	1.1	未成魚	—	—	9.2	N.D. (0.87)	9.2	0.17
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	2	0.030	未成魚	—	—	5.3	N.D. (2.6)	5.3	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。